

臨床発達心理士会北海道支部ニューズレター 2017年度 No. 3 (2018年3月13日)

発行：広報担当 相原未央 服部菜摘

◇◇◇2017年度 北海道支部 第4回研修会報告◇◇◇

**日時：**2018年2月18日(日) 12:30～15:30

**会場：**北海道立道民活動センター (かでの2.7) 520 研修室  
(北海道札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル)

**テーマ：**発達に心配がある子の就学先への引継ぎ

**講師：**三浦 文 先生 (石狩市こども発達支援センター)

**司会：**藤崎 知美 先生 (社会福祉法人 楡の会)

**概要：**今回は北海道支部長の三浦先生から、幼児期に療育を受けていた発達面に心配のある就学前のお子さんの事例を提供していただき、小学校にどのように引き継いでいくかという内容で事例検討を行いました。初めにケースの説明があり、説明に対する質疑応答の後グループワークに入りました。福祉、医療、教育等の現場で活躍するメンバーで構成されたグループでは、いろいろな角度から支援経過や検査結果などを基にアセスメントを行い、学校生活で予想される姿、さらに予想される姿に対する支援の考え方や支援方法を検討し、その結果を全体で交流しました。臨床発達心理士として必要な「アセスメントの結果を支援に結びつける」力を高める貴重な機会になりました。参加者は35名でした。

(文責 石川和男)

◇◇◇2018年度 北海道支部総会、第1回、第2回研修会のご案内◇◇◇

支部総会は、北海道支部の活動方針など、様々なことを決定する機会になります。そのため、できる限り支部会員の方のご出席をお願いいたします。今年も4月に会員の皆様に往復葉書をお送りし、事前に出欠の確認を行わせていただきます。返信はがきにご記入の上、5月1日(火)までに投函してください。往復葉書は総会の委任状も兼ねます。総会成立には、委任状を含め、会員の過半数の出席が必要となりますので、総会を欠席される方につきましても、必ずご返信をお願い致します。

研修会については、支部総会終了後に第1回支部研修会、翌日に第2回支部研修会を開催致します。支部研修会の出欠確認はしておりません。研修会の参加申し込みも不要です。

総会と研修会の詳細につきましては、以下の通りです。支部会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

《2018年度北海道支部総会》

**日時：**2018年5月12日(土曜日) 13:00～14:00 (受付12:30～)

**会場：**札幌市西区宮の沢1条1丁目 ちえりあ 2階大研修室

URL <https://chieria.slp.or.jp/>

(札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 地下鉄東西線宮の沢駅から地下直結通路で徒歩5分)

内容：2017年度活動報告・決算報告 2018年度活動計画・予算案・役員選出等

#### 《2018年度 北海道支部 第1回研修会のご案内》

※ 第1回研修会は資格をもたない方も参加できます。申し込みは不要です。

日付：2018年5月12日（土曜日）

時間：14:30～17:30（受付14:15～）

会場：ちえりあ 2階大研修室

テーマ：ことばの問題と読み書きの関係性

～ 学習障害特性を持つ子どもへのライフステージに沿った対応 ～

講師：蔦森英史先生（北海道教育大学旭川校）

資料代：会員500円 非会員1000円

ポイント数：1.0

**概要**：就学前の子どもがことばの問題を持つ場合、その後読み書きの苦手さを持つリスクが高くなることが知られています。しかしながら、健診などでことばの問題が発見されても、読み書きに関して焦点は当てられることは稀です。その結果、発見や対応が遅れることも少なくありません。今回は学習障害特性を持つ子どもが、将来どのような点で困るであろうか、ライフステージに沿って解説しながら、就学前及び学齢期に可能な対応に関して概説をしたいと思います。

**お問い合わせ**：臨床発達心理士会北海道支部事務局 [cdp.hokkaido@gmail.com](mailto:cdp.hokkaido@gmail.com)

#### 《2018年度 北海道支部 第2回研修会のご案内》

※ 臨床発達心理士有資格者のみの参加となります（資格をお持ちでない方は参加できません）。申し込みは不要です。

日付：2018年5月13日（日曜日）

時間：11:00～15:00 講習会（受付：10:30～、途中休憩：12:30～13:30）

会場：ちえりあ 2階大研修室

テーマ：WISC-IV 知能検査結果と発達支援実践の橋渡し

～ つまづきの原因の理解と対応の提案 ～

講師：大六一志 先生（日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 元筑波大学）

資料代：500円

**ポイント数**：1.0（午前と午後の両方を通して受講して1.0ポイントとなります。どちらか一方の参加のみの場合はポイントは付与されませんので、ご注意ください）。

**概要**：今日 WISC-IV 知能検査に求められている役割は、子どものつまづき（主訴）の原因を理解し、また、対応を提案することです。単に得点が高いとか低いとかいうことを報告したり、それを教科書通りの解釈に置き換えたりするだけでは、WISC-IV を活用したことにはなりません。また、しばしば数値が一人歩きするのを見かけますが、実際には WISC の数値だけでは正しい解釈にたどりつけないことが多く、検査の実施状況や行動観察、背

景情報、他検査の結果も収集することが不可欠です。そこで本研修では、FSIQ および 4 つの指標得点を中心に、典型的な解釈とそのメカニズム、日常での現れ、支援法・補償法についてお話しします。

#### —研修会参加に関する注意事項—

- 1) 士会会費未納者（過年度未納を含む）の参加は認められません。
- 2) バーコード付き ID カードで本人確認とポイント発行を行いますので忘れずにご持参下さい。
- 3) 当日に ID カードを忘れた場合は、ポイントを発行できません。
- 4) 研修会開始 10 分以上の遅刻、途中退席、早退の場合にはポイントを発行できません。

#### —参加記録ノートについて（2016 年度以前の資格取得者対象）—

- 1) 士会事務局からの案内（郵送物、ホームページ等）をよくご覧のうえ、各自ご対応ください。
- 2) 士会ホームページ上に「【重要】臨床発達心理士資格更新ポイント管理の移行について」が掲載されています。
- 3) 2016 年度以前に「参加記録ノート」に貯めていたポイントは、各自で SOLTI システムに登録する必要があります。
- 4) SOLTI へのポイント登録後も「参加記録ノート」は必ず保管しておいてください。

#### ◆◆◆支部役員について◆◆◆

北海道支部は、支部役員を中心に運営されています。支部役員は、支部長をはじめ、副支部長、幹事、事務局長、研修、会計、広報、監査に担当が分かれています。任期は3年になっています。支部会員の皆様から、新たに支部役員を引き受けていただける方を募集いたします。支部役員は、メールによるやりとりを中心にしながら、直接集まる会議は支部研修会の日に設定するなどして、できるだけ負担が少なくなるように運営しています。ですので、遠方の方でもお引き受けいただくことは可能です。もし、支部役員を引き受けても良いと思われましたら、お名前、希望する業務（質問でも構いません）を、北海道支部事務局（cdp.hokkaido@gmail.com）までメールにてお知らせください。たくさんの方からのご連絡をお待ちしています。

なお、2018年度は、副支部長(2名)、幹事(1名)、監査(1名)が任期満了による改選となります。支部規約上、これらの業務は、支部総会での会員互選を経て決定となります。希望される場合は支部総会の1週間前(5月5日土)までに北海道支部事務局に、その旨をお知らせください。

(北海道支部長 三浦 文)